

由布市立挾間中学校だより「ひむかい」 令和6年度 No.9

令和7年1月27日発行 文責 須藤礼子

回
覧



「にぎやかな声が学校に響き渡りました！PTA 主催のお餅つき大会！」

「よいしょ！」「よいしょ！」1月18日（土）。挾間中学校の校舎いっばいに、子どもたちの掛け声や笑い声が響き渡りました。PTAの皆さんの呼びかけで、挾間中学校初の（おそらくですが・・・）餅つき大会が開催されました。土曜日ということで、多くの部活生が参加し、総勢は200名ほどでした。

今の中学生は、コロナ禍の影響を大きく受けた世代です。「一度も臼（うす）と杵（きね）を使ったお餅つきなんてしたことがない。」という子どもたちがほとんどでした。本物の臼や杵に全員が触れ、たくさんの大人の皆さんの温かい思いを感じた子どもたちの、とびきりの笑顔が印象的でした。

餅が出来上がるまでには様々な準備が必要になります。前日から餅米を洗って水にかしておきます。石臼をはじめ、多くの道具の搬入も行われました。当日は朝早くから、水からあげた餅米を蒸します。同時に、臼や杵を熱湯で消毒し、温めておきます。餅米が蒸しあがったら、熱いうちに杵でこねて、いよいよ餅つきの場面になります。こうした多くの準備をしてくださるPTAの皆さんや、学校運営協議会の皆さんのご支援によって、開催できたことに心から感謝します。とかく、人と人との繋がりが希薄になってきていると言われる時代ですが、挾間中学校には、まだまだ温かい心の交流が息づいています。

「心を磨く！」「挾間中学校の掃除は、無言清掃です。」

挾間中学校では、清掃時間のチャイムが鳴ると、全校生徒がそれぞれの清掃場所に無言で整列をします。この時、一瞬学校全体を静寂が包みます。「無言清掃の開始です。」の全校放送を聞くと、一礼をして、全員が無言で掃除に取り組みます。最初は、おしゃべりをしていた1年生も、先輩たちの姿を見て、一生懸命に清掃に取り組むようになっていきます。高校の先生方など、挾間中にいらっしゃった先生方からも、とても多くのお褒めの言葉を頂いています。

私は、この掃除の時間が大好きです。全校の心がそろう瞬間を感じるからです。たった10分間の掃除の時間ですが、「心を磨く」大切な時間だと感じています。

ご家庭ではいかがでしょうか？中学生ともなると、やらなければならないことがいっぱい、掃除や片づけをするのが難しいのは分かります。でも、自分が使ったものを、自分で片付ける習慣は、生きていくための基礎力だと思います。



シリーズ「つながる！親子で語り合いませんか！」「自分の将来のこと！進路のこと！」

通信制高校の入試を皮切りに、私立高校の推薦入試・特別奨学生選抜入試・一般入試、連携型入試、その他の学校の推薦入試と、3年生が入試本番を迎えています。校長室にも、推薦入試や連携型入試を受ける生徒が、面接練習の最終仕上げにやってきます。全員、真剣な表情で合格に向けて取り組んでいます。

そんな彼らの姿を見て思うことは、「合格する・しない」といった結果だけではなく、「自分で決める」ことの大切さです。高校に進学しても、職場に就職しても、思っていなかった困難にぶつかることがあるでしょう。そんな時、乗り越えるためのポイントの一つが、自分の納得のいく選択であるということです。それには、十分な時間とアドバイスが必要です。各ご家庭で、将来のこと、進路のことに向き合ってみてください。